

オーストラリア 果汁価格が上昇し柑橘類を後押し

[FreshPlaza](#) 2024年11月4日

果汁不足の中で価格が上昇し、世界市場の変化がオーストラリアの柑橘類を後押し

オレンジ果汁飲料の価格が上昇していることに気づいたならば、それは生産コストの上昇と世界市場のダイナミクスが国内価格に影響を与えているためである。この状況は、輸入濃縮果汁に依存している果汁飲料会社にとっては課題を提起しているが、オーストラリアの柑橘類生産者にとっては改善されたシナリオを提示している。サンレイシア地域の柑橘類生産者であるティム・ヴァンデンバーグ氏の場合、COVID-19、ウクライナ戦争及び賃金上昇によるコストの増加に直面しているにもかかわらず、世界的な果汁価格の上昇により果実の品質と収益性が著しく改善した。

世界の濃縮オレンジ果汁市場では、米国フロリダ州やブラジルなどの主要産地に影響を与える病害や干ばつにより世界の濃縮果汁の供給が大幅に減少し、価格が高騰している。これにより、オーストラリアの果汁飲料会社にはより多くの国内産果実を調達するよう圧力がかかり、果汁飲料の価格設定に影響を与えている。例えば、南オーストラリア州の果汁飲料会社であるニッピース社では、2リットルのオレンジ果汁製品の価格が18カ月で20%上昇した。このようなコスト圧力にもかかわらず、果汁飲料の需要は依然として堅調である。国内の生産者にとっては、特に近年の悪天候と生産物の品質低下による損失に直面した後で、現在の市場環境は収益の改善につながっている。

出典: [ABC News](#)

南アフリカ ブドウは熱波で収量減だが輸出は依然として楽観的

[FreshPlaza](#) 2024年11月4日

南アフリカのブドウ生産者達は、極端な天候条件のため、輸出用の収穫量の減少に直面している。リンポポ州のロスコップバレー地区では、最近ブドウの出荷シーズンが始まったが、雹害が発生している。こうした問題にもかかわらず、この地域は概ね前向きな見通しを維持している。しかし、国内の他の主要ブドウ産地では、特に南アフリカ産食用ブドウに対するヨーロッパの需要が高まる中、猛暑に対する懸念が高まっている。

国内で最も広大な生食用ブドウ産地である北ケープ州のオレンジリバーバレー地域では、10月初旬に数日間にわたって気温が40°Cを超え、一部のブドウ園では落花が見られた。この現象は、環境ストレス、特に過度の暑さによって、花が植物から落ちる現象であり、その結果、着果数が少なくなり、収量が減少する。暑さによる推定10%の収量の低下が予想されるにもかかわらず、楽観的な見方が続いている。ディッペンナールチョイス社のアルウィン・ディッペンナール氏は、「今シーズンのブドウの最初の生産見通しでは、この地域の収穫量は2,440万箱で昨年をわずかに上回ったが、道のりはまだ長い」とコメントしている。

ブドウの出回り量が世界的に減少する中、ヨーロッパ市場での南アフリカ産ブドウの需要は高まっている。多くのバイヤーが既に今シーズンの産物を確保しようとしており、早い時期の暑さの問題にもかかわらず高品質を期待している。オレンジリバーバレー地域からの最初の出荷は今後2週間以内に始まると見られ、11月中旬までには収穫の最盛期が予想される。

出典: [The South African](#)